

1.低回生からの多彩なフィールドワークによる実践的な学び

2.教育・保育の実践力を養う充実した施設

3.高い合格率を支える、教職保育職支援室の手厚いサポート体制

1回生

教育・保育の基礎と コース選択

(児童教育コース・幼児教育コース)

教育・保育の現場を知り、子どもや子どもを取り巻く環境を理解する。後期からはコースに分かれフィールドワークなど実践的な学びがはじまる。

- ✔ 主体性
- ✔ 積極性
- ✔ 観察力
- ✔ 基礎知識

PICK UP 科目

- ・ こども理解 (児童)
- ・ 保育実践入門

こんな経験もRECOMMEND

- ・ 小学校の運動会ボランティアや学習支援
- ・ こども園や保育園の見学

2回生

専門的な知識と技能

学校や保育現場で知識技能を実践しながら教育保育の課題を探究する。

- ✔ 共感力
- ✔ 尊重力
- ✔ 探究心
- ✔ 課題発見力

PICK UP 科目

- ・ 学校・地域調査
- ・ 保育実習指導

こんな経験もRECOMMEND

- ・ 小学校での学習支援や放課後ボランティア
- ・ 保育園でのボランティアや実習
- ・ 学生団体「げんkids★応援隊」で子どもの遊び場を企画運営

3回生

実践的指導力を 磨く教育実習・保育実習

実習を通して専門的な知識技能を深化させ、実践力を養う。

- ✔ 実践力
- ✔ リフレクション
- ✔ 協働力
- ✔ 支援力

PICK UP 科目

- ・ 教育実習指導
※教育実習／小学校20日間
- ・ 教職・保育職教養講義
※実習／施設・保育園各10日間、幼稚園15日間

こんな経験もRECOMMEND

- ・ 小学校や保育園で継続的に学習支援やボランティア
- ・ 採用試験にむけて個別面談や進路ガイダンス参加

4回生

卒業研究

卒業研究を通して、専門性と課題解決力を育む

- ✔ 専門性
- ✔ 人間性
- ✔ 課題解決力

PICK UP 科目

- ・ 教職実践演習

こんな経験もRECOMMEND

- ・ 教職保育職支援室による面接や実技など個別指導で対策
- ・ 教育や保育を取り巻く環境や課題への理解を深める



多様なキャリア



小学校教諭、幼稚園教諭、 保育士として 教育保育の現場で活躍

将来の進路

● 小学校教諭

● 幼稚園教諭

● 保育士

● 福祉施設職員

● 教育・保育関連企業

など

取得できる資格

<児童教育コース>

- ・ 小学校教諭一種免許状
- ・ 幼稚園教諭一種免許状
- ・ 図書館司書
- ・ 学校図書館司書教諭
- ・ 博物館学芸員
- ・ 社会教育主事
- ・ 日本語教員

<幼児教育コース>

保育士※1、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状※2、図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員、社会教育主事、日本語教員

※1 保育士養成課程の定員は100名です。

※2 単位修得状況等により、履修基準を設けている場合があります。また、在学期間4年間のうちに取得することが難しい場合もあります。